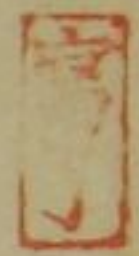


精算方役所章程摘譯



1650



414
A 529

精算方章程摘譯

第一精算方役所廢置ノ原由並ニ履歷事
畧之

第一精算方職掌ノ畧記並ニ分課ノ事

第一精算方ハ文官諸者ニ關係スル勘定書類
ヲ受取り之ヲ正算ス其大畧ノ區分左ノ如シ

第一

三ヶ月毎ニ差出スル租稅收受並ニ諸

入費差引ノ勘定書類

右ハ輸入稅、内地諸稅、直稅、造幣ノ勘定

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

合無國ノ金銀出納役ノ勘定等及ヒ貸
金紙幣其他ノモノヨリ收受スル増殖
金ノ勘定書類ニシテ三ヶ月毎並ニ一
々年毎ノ差引勘定ヲ立各其殘金ヲ其
次ノ三ヶ月毎ノ勘定書類ノ元一掲出
スヘシ

第二

文官諸省ノ定額金ト名稱シ其受拂役ハ
前渡し又ハ其者ニテ遣拂ヒシ三箇月毎
ノ勘定書類

右ハ議政、行政、司法ノ諸省地方廳並ニ
政府所管ノ教院等總テ軍事ニ關係ナ
キ諸省ノ勘定額ニシテ正算ノ上其殘
金ヲ次ノ三ヶ月毎ノ勘定書元ニ立ツ
ヘシ且又各省受拂人ノ手ヲ經ス臨時
大藏省ヨリ直チニ拂ヒシ一種ノ役負
給料勘定書ヲモ正算スヘシ

但其給料ハ精算高ニテ正算ノ上檢
査頭承認シ之ヲ大藏記録頭ハ證明
シ又右拂出シ傳票ノ為記録頭ニテ

大藏卿へ其寫ヲ證明セシモノナル
ハシ

第三

公債支消取除ケ金ト名稱シ其受拂役へ
前渡シ及ヒ其者ニテ仕拂セシ三ヶ月毎
、勘定書類

右勘定ノ残金モ亦次ノ三ヶ月毎ノ勘
定元ニ立ヘシ且受拂役ノ手ヲ經ス臨
時、大藏省ヨリ直チニ拂々出シタル
市民へノ勘定或ハ其請求ヲモ正算ス

スヘシ最右ハ精算方ニテ正算ノ上檢
査頭檢印記録出納ヲ經テ傳票ノ手續
ヲ為セシモノナルハシ

第四

税銀ノ納過、税関役負別段手當、海軍病院
ニ關係ノ諸費、燈臺ニ關係ノ諸費、海岸測
量ニ關係ノ諸費、度量衡ノ諸費ノ為メ差
出シタル集稅方三ヶ月毎ノ勘定書

第五

專賣免許事務取扱長官ノ三ヶ月毎ノ勘

定書類

第六

議院特別ノ布令ニ從ヒ其為メ取除置タル救助金ノ勘定書類

第七

政府ト取引上或ハ勤仕ヲ為レタル其勞ニ付役負或ハ市人ヨリノ請求勘定書類
勘定書並ニ請求書等ヲ正算シ其公務上往復ヲ為シ報告ヲ差出シ書留ノ簿冊ヲ管守シ其他ニ関スル書記生勤務ヲ為サレハル為メ

其事務ヲ四課ニ分チ以テ區別ヲ為ス各其責ニ任スル長官アリテ要用文々ノ書記生ヲ使
用シ其監督ヲ為ス分課左ノ如シ

第一

海關稅等ヨリ取立ル所ノ歲入勘定ニ関スル役所

第二

文官諸省ノ受拂役勘定書ニ関スル役所

第三

國債支消ニ付仕拂勘定ニ関スル役所

第四

未定公債ノ如キ確定セサル請求ノ勘定ニ関スル役所

第一精算方ハ勘定帳正算ノ事ニ付左ノ報告ヲ出ス

第一

各正算ノ諸勘定帳ノ差引ヲ立其證明書ト證書類トヲ添ヘ結局ノ決算ヲ受クル為メ第一検査頭ヘ別ニ報告ヲ出ス

第二

精算方役所ニ使役スル書記生ノ人負ヲ其勤務ニ附カシメタル時日各人ヘ渡シタル手當等ノ年報ヲ大藏卿ヘ出ス

第三

翌年ノ精算方役所ノ臨時入費並ニ俸給ヲ概算セシ報告ヲ記録頭ヘ出ス

第四

前ニケ年間其役所ニテ使用セシ人名生國住所手當等ノ表ヲ作り内務省ニテ貯藏スヘキニケ年毎ノ記録ニ書入ノ為其

報告ヲ大藏記録頭へ出ス

第二精算方職掌畧記並ニ分課ノ事

畧之

第二精算方ノ職掌ハ千八百四十一年大藏卿
へノ書ニ明白ナリ其書翰中ニ曰ク第二精算
方ノ職掌ハ陸軍ノ俸給衣服士官ノ賄並ニ馬
飼方新兵徵集ノ入費及ヒ病院ノ用度品陸軍
省ノ臨時費武庫司ノ勘定其他裝軍ノ諸入費
半給養老銀拂殘ノ請求軍卒並ニ隨意兵ノ俸

給并ニ手當及ヒ印度事務ニ関スル諸勘定書
類ヲ受取り之ヲ正算ス

右勘定書類ノ内士官ノ俸給口賄並ニ馬飼料
從僕ノ手當下等士官等ノ俸給別段手當衣服
料其他兵卒ノ俸給等陸軍勘定役目ニテ差出
ス勘定書類ニ載スヘキ分ハ其省勘定役掟轄
ノ手ヲ經テ精算方へ送ルヘシ
印度事務ニ關係ノ歳出ハ其事ヲ委託セルニ
ノリ差出ス勘定書ヲ印度事務主宰ノ
手ヲ經テ此役所へ差出スヘシ

陸軍衣服並ニ屯營用度品ノ勘定ハ輜重方頭
取リ達シ並ニ武庫司及ヒ軍医局ノ歳出勘
定書類ハ其司局ノ長官ヲ徑テ此役所ニ達ス
新兵徵集ニ関スル士官ノ勘定書病死ノ士官
兵卒或ハ年期済兵卒ノ代人等ヨリ請求其他
半給養老銀等ノ請求ハ其当人或ハ代人ヨリ
直ニ受取ルヘシ

陸軍會計役摺括ニテ受取タル會計役ノ勘定
書ハ其前決算ノ後遣拂ヒタルモノヲ悉ク書
載シ之ニ證書類ヲ添ヘ雛形ニ從ヒテ其勘定

書ヲ差出スヘシ

右證書類ト云フハ陸軍士官ノ俸給勘定俸給
ヲ渡シタル兵卒各隊ノ人名録並ニ受取帳及
ヒ此役所ヨリ渡し置タル脱籍兵卒等ノ負數
證書類ヲ云ナリ且前決算済ノ後政府或ハ人
民ヨリ受取タル諸金ヲ計算方借リ方ト稱シ
其者ヨリ各所計算役ニ渡し又ハ拂ヒ出しタ
ル者ヲ貸方トシ勘定書ヲ作り各負ノ請取證
ヲ添ヘ共ニ差出スヘシ

右勘定書類ヲ検査スルノ際證書類ヲ寫ト法

律及ニ規則ニ照合シ違算並ニ規則ニ悖リテ
拂ヒシモノヲ引去リ其残高ヲ勘定書ニ記載
シ其勘定書ノ捻計高ヲ改正シ而シテ其計算
方ハノ貸方トス又其計算方ハ其時其金ヲ他
ノ計算方ハ引渡セシ金高ノ為メ貸方トス其
拂方ヲ負ヒシ士官ハ次ノ拂ヒヲ受取ヘキ計
算方ハ其金ヲ返弁スヘシ

前書勘定帳ノ内前決算ノ節ノ残金並ニ前渡シ
金或ハ其以後渡しタル金高ニ其計算方ノ負
債タルヘシ依テ右等種々ノ金高ハ其次ノ勘

定帳決算ノ節残金ヲ書載シ置クヘシ
検査済ノ上役人ハ拂切りノ分ハ其節記録ニ
載セ二重拂等無カラサルノ後證トシテ日附
並ニ拂期限金高ヲ拂渡しタル計算方ノ姓名
並ニ其記録ヲ為ス決算ノ日限ヲ書留メ備ヘ
置クヘシ右同様ノ手續ヲ以テ死去兵卒ノ名
ヲ右勘定帳ニ添フ人名録ヨリ書抜キイロハ
分ケニシテ別冊ニ記シ其計算方ノ姓名並ニ
當人附属ノ隊名及ヒ終尾ノ拂日限及ヒ死去
ノ日限ヲ記シ置クヘシ此記録ハ後日死去セ

シ兵卒代人ノ請求、決算ノ節照合ノ為、備
置クナリ右死去ノ者、請求ヲ計算方ニテ拂フ
事ハ此下ニ説明スル如ク大藏省會計方役負
ニテ正算ノ上證明セサル以上ハ規則ニ依テ
禁止セルナリ

右ノ如ク出来シタル勘定書ハ正算ノ後精算
方ニテ證明シ公書並ニ證書類ヲ添ヘ決算ヲ受
クル為第二検査頭ニ送致スヘシ若其勘定書
ヲ承認セシ時ハ精算方證明書ノ末ハ検査頭
其名ヲ記シ承認ノ印ヲ鈐スヘシ

第二検査頭ノ承認鈐印済ノ上精算方役所
再ヒ戻リタル節ハ其精算方ヨリ勘定帳算決
セシ旨ノ報知書ヲ陸軍計算方士官ヘ送ル
シ其書中遣拂殘金其外若許可スヘカラサル
モノアリシ中ハ其譯柄等ヲ認メ勘定帳中ヨ
リ引去リ其情実ヲ巨細ニ記載シ右承認セリ
ル證書類ト共ニ送ルヘシ其書面ノ寫ヲ其決
算勘定書ト共ニ此役所ヘ留置クヘシ
陸軍附属物品勘定書ハ陸軍一般ノ規則ニ載
スル所ノ雛形ニ隨ヒ表ヲ作り士官ニテ銘々

預けノ物呂各種ヲ區分シ何日誰ヨリ受リ何
日誰ニ其内ヲ引渡し又何程公路ニ遣用シ何
程手許ニ残リ其次ノ表ノ元ニ組入ルヘキハ
何程ナルヤフ巨細ニ記載シ差出スヘシ
印度理事官ヨリ受取タル勘定帳決算ノ儀モ
前書ノ手續ト同様タルヘシ
前書遣拂ノ勘定帳ハ現存ノ規則ニ隨ヒ相当
ノ直段書並ニ受取書ヲ添ユヘシ若之ニ違背
スル時ハ其段ヲ右勘定書ニ記シ其規則ニ悖
リ拂ヒ出シタル金高ト違算ノ高等ヲ勘定帳

ヨリ引去リ陸軍會計方ノ勘定書類ト同様其
残金ヲ計會方ニ貸ニ立之ニ証明書並ニ證書
類ヲ添ヘ算決ヲ受クル為メ第二検査頭ニ送
ルヘシ而シテ検査頭檢印濟ニテ此役所ニ戻
リシ時ハ前文算決ノ報知ヲ右計算方ニ送ル
ヘシ
右遣拂勘定決算ノ後ト魚物品ノ儀ハ指令ニ
依リ其品ヲ預ルヘキ士官ニ遣ニ引渡し或ハ
公用ニ供シタル事ノ確證ヲ差出サ、ル迄ハ
其士官ノ責ヲ免ルヘカラス

決算ニ於テ手許ニアル物品ノ残餘并勘ヲ立
テナル士官ハ其物品ノ代價ヲ以テ其者ハ貸
ニ立テ役所ノ簿冊ニ記載シ其高ヲ大藏省ハ
返納セシムヘシ若シ之ヲ否ム節ハ陸軍ノ士官
ナレハ第二検査頭ノ指令ヲ以テ陸軍會計方
監督ノ手ヲ經テ其金高ヲ士官ノ給料ノ内ヨ
リ差引スヘシ若シ陸軍士官ニアラサル時ハ
其金高ヲ第二検査頭ニ報告シ公裁ヲ經ルノ
手續ヲ為スヘシ新兵徵集ノ費用ニ充テタル
金額ハ陸軍卿ヨリ大藏卿ヘノ達書ヲ以テ追

々其要用ニ隨ヒ数口ハ陸軍會計方へ前渡ス
ヘシ右會計方ハ徵兵勘定帳ノ雛形ニ隨ヒ月
々新兵ノ人負姓名其入費ノ報告ヲ證書ト共
ニ差出スヘシ且其會計方ノ手へ受取タル金
高、時日並ニ渡シタル人名及ヒ遣拂ヒノ高ヲ
モ記入スヘシ
徵兵勘定書ニ添フ人名録並ニ證書類ヲ寫ト
照合シ一般ノ規則ト比較シ相違ナケレハ勘
定書報告ヲ作り徵兵費ノ差引ヲ立會計方へ
貸借ヲ明ニシ之ヲ弄決ノ為メ通例殘金證明

書ト共ニ第二検査頭ハ差出スヘシ其檢印濟
ノ上其段ヲ會計方ヘ報知スヘシ然ル後新兵
ノ人名ヲ雖形ニ隨ヒ其為設置カ簿冊ニ記入
スヘシ
陸軍ノ死去士官又ハ兵卒ノ代人或ハ年期濟
ノ兵卒等ヨリノ請求ヲ陸軍會計方ニテ拂方
ヲ為サスレテ此役所ニ受ケシ時ハ人名録ト
照較シ若渡残り等アラハ其計算ヲ立雖形ニ
隨ヒ證明書ヲ作り之ヲ請求證書ト共ニ算決
ヲ受クル為メ第二検査頭ヘ送致スヘシ検査

頭檢印ノ上此役所ニ戻リシ時ハ右證明書請
求ノ當人ヘ送り其證明書中ニ書載セル會計
方ヘ持行拂ヒテ受取ラシムヘシ此拂方ノ方
法ハ千八百三十一年第十一月十二日ノ陸軍
省規則ニ隨ヒ設ケシモノニテ千八百三十二
年第一月二十四日第二検査頭ニテ承認セシ
モノナリ
前書規則外ノ勘定類ニテ平人ヘ拂フヘキ金
高芽ヲル時ハ精算方ニテ證明書ヲ作り之ヲ
第二検査頭ニテ檢印濟ノ上陸軍卿ヨリ大藏

卿へノ達書ヲ出スヘシ茲ニ於テ大藏卿其請
求人々為メ傳票ヲ出スナリ
右同様ノ振合ヲ以テ陸軍會計方へ渡スヘキ
金銀陸軍卿ヨリ大藏卿へノ達書ヲ以テ右會
計方ノ為メ大藏卿ヨリ傳票ヲ出スナリ其會
計方ハ右金銀遣拂方ノ責ニ任スヘシ
大藏省へ達ニ依テ前ニ渡しタル金銀並ニ拂
方ハ會計士官又ハ請求人へ直渡し或ハ郵便
送りヲ論セス總テ其受取ヲ此役所ニ留置ク
ヘシ

前ニ云フ達書ハ總テ雛形ニ隨ヒ簿冊ヲ設ケ
置之ニ書留置クヘシ且検査頭承認ヲ受タル
總テ勘定ノ決算ハ役所ノ日記簿ハ雛形ニ隨
ヒ記入シ置クヘシ役所往復ノ書類ヲモ書狀
簿へ載セ置ヘシ
前書勘定並ニ請求取調方並ニ定額金及ヒ達
書等ノ簿冊貯蓄方諸往復書報告書其他勘定
書並ニ請求ニ付書記生ノ勤務ニ関スル諸簿
冊取扱方ニ付課ヲ分ツ左ノ如シ

第一

諸勘定帳備置ノ役所

第二

印度事務ニ関スル勘定ノ役所

第三

印度人種ノ為備金勘定ノ役所

第四

陸軍俸給勘定ノ役所

第五

武庫司ニ関スル勘定ノ役所

第六

衣服並ニ裝軍諸式勘定ノ役所

第七

医家並ニ病院ニ関スル勘定ノ役所

第八

新兵徴集ニ関スル勘定ノ役所

第九

雜費勘定ノ役所

第二精算方ハ左ノ報告ヲ出ス

第二検査頭ハ報告ノ件

第一

物品遺拂ヒ勘定ヲ除クノ外印度事務掛ノ仕拂勘定書類並ニ陸軍ノ仕拂諸勘定書類ヲ結局ノ決算ヲ受ケル為メ第二検査頭へ報告ヲ出ス

第二

印度事務局並ニ陸軍ニ在ル諸會計方ニテ律ノ通り金銀仕拂並ニ物品遺拂勘定書ヲ差出サ、ル者ノ姓名ヲ三ヶ月毎ニ第二検査頭へ報告ス

第三

訴ヲ起スニ付大藏省代訴人用ノ為メ其役所中結末ヲ為サ、ル印度事務局並ニ陸軍者ノ計算残金ノ正寫ヲ第二検査頭へ三ヶ月毎ニ報告ス

議院へ報告ノ件

第一

印度事務局會計方ニテ仕拂ノ諸勘定帳ノ寫會計方ノ姓名並ニ金銀受取迄書ノ日限並ニ番號等ノ表ヲ添へ年々議院へ

報告ス

但陸軍勘定帳ノ儀ハ議院へ報告ヲ為
サス

第三

陸軍ニ関シ其省ノ士官ニテ仕拂タル臨
時ノ遣拂ヲ年々議院へ報告ス

第三

第二精算方役所ニ関シ仕拂タル臨時ノ
遣拂ヲ年々議院へ報告ス

第四

開院中議院ノ下問ニ依リ印度事務局諸
勘定ニ関係ノ事件並ニ同所陸軍勘定向
ノ儀ニ付議院へ別段ノ報告ヲ出ス
陸軍卿へ報告ノ件

第一

議院集會ノ前陸軍並ニ印度事務ニ関係
ノ勘定書ニテ年内決算ニ成ラサル勘定
書ノ負數ヲ陸軍卿へ年々報告ス

第二

印度事務ノ諸勘定並ニ陸軍諸勘定ノ儀

ニ付追々下問ノ答トシテ陸軍卿一別段
ノ報告ヲ為ス

大藏卿一報告ノ件

第一

印度事務諸勘定並ニ陸軍諸勘定ノ儀ニ
付追々下問ノ答トシテ大藏卿一別段ノ
報告ヲ為ス

第一検査頭一報告ノ件

第一

三ヶ年餘結局ノ決算ニ至ラス其役所ニ

在ル勘定書残金ヲ年々第一検査頭一報
告ス

但右検査頭ニテ第三第四精算方并ニ記

録頭ヨリ同断ノ報告ヲ取り議院ニ

送致ス

大藏記録頭一報告ノ件

第一

二ヶ年毎ノ記録ノ為メ其役所ニ用ヒタ
ル書記生並ニ其他ノ者ノ人名生國手當
等ノ表ヲ作り二ヶ年毎ニ大藏記録頭一

大藏省

報告ス

第三精算方職掌畧記並分課ノ事

第三精算方ハ陸軍省會計方ニテ測量道路堀割、炮臺建築修繕其他軍事ニ関スル造営ニ付受取タル金銀並ニ其遣拂ノ三ヶ月毎勘定書及ヒ賄方、輜重方役所等ノ勘定、癘疾並ニ半給養老銀等ノ勘定書類ヲ受取り且前件ノ關係スル局課物品ノ遣拂ヒ勘定書ヲモ受取ルナリ右勘定書類ヲ受取り正算ノ上公書並ニ報告

ヲ添へ檢印ノ為メ其原書並ニ證書類ト共ニ第二検査頭へ送致スヘシ茲ニ於テ検査頭ハ其報告公文ノ正否ヲ知レ或ハ之ヲ加除更改レ而シテ之ニ證明シ精算方へ返戻スヘシ精算方ニテハ其役所へ記録ニ置クヘシ

第三精算方ハ又律ニ依リ定メタル時限ニテ養老銀人名帳ニ取調ヘキ其季ニ當リ養老銀取扱役所へ申立サル鰥寡孤獨ヨリ其養老銀ノ請求及ヒ養老銀人名録ニアリト爲モ之ヲ請求セサリシモノヨリ其養老銀ノ請求或ハ

拂期限ヲ過キ十四ヶ月ノ内ニ會計方ヨリ請
取ラサル者ヨリノ請求其他軍事ニ勤仕セシ
モノヨリ、請求ヲ受取り其請求正算更正シ
後々各件ノ報告公文ヲ添ヘ之ヲ原書並ニ證
書類ト共ニ第二検査頭ヘ送致スヘシ然ル時
ハ検査頭ニ於テ其正否ヲ知シ或ハ之ヲ加除
更正ノ上之ニ証明シ精算方ヘ差戻スヘシ精
算方ニテハ定例ノ通之ヲ書留メ其役所ヘ備
置クヘシ其後精算方ニテハ其為メ設ケタル
別段準備金或ハ不定準備金等ヨリ拂出一傳

票ノ為メ大藏卿ヘ陸軍卿ヨリ達書ヲ送ルヘ
キ為メ検査頭ニテ承認シタル金高ヲ奥書シ
置クヘシ

第三精算方ハ一般内國ノ請求ヲ除クノ外合
衆國ノ軍事ニテ損失セシ馬並ニ所有物ノ為
メ平民ヨリ請求スル分ヲ大統領ノ許可ヲ得
テ陸軍卿ニテ掲ホシタル規則ニ隨ヒ其請求
ヲモ請取ルヘシ而シテ其正否ヲ知シ其原書
ト證書類ト共ニ檢印ノ為メ第二検査頭ヘ送
致スヘシ而シテ検査頭ニテ承認シタル金高

ヲ精算方ニテ奥書シ之ヲ第一精算方へ送ル
ヘシ第一精算方ハ其正算ニ及ハスヲ第一
検査頭ニ於テモ檢算ニ及ハス大藏記録頭へ
直チニ其證明ヲ為スヘシ茲ニ至テ記録頭ハ
之ヲ其役所へ書留メ保存シ大藏ニテ外ニ充
用セサル金ノ内ヨリ拂ヒ出スヘキ傳票ノ手
續ヲ為ス為メ其寫ヲ大藏卿へ證明スヘシ
此勘定書類並ニ請求書及ヒ定額金並ニ達書
渡し金仕拂往復書類書留報告其他右計算ニ
関スル書記生勤務方等ニ付左ノ分課ヲ設置

セリ各課ニ一人ノ長アリテ各其責ニ任シ又
書記生ニ於テモ其長ニ對シ各其責アリ

第一

定額金並ニ達書取調ノ役所

第二

前渡金並ニ殘金取調ノ役所

第三

河海測量ニ関スル勘定ノ役所

第四

建築計算ニ関スル役所

第五

ウエス卜ホイニ卜陸軍ノ計算ニ関スル
役所

第六

賄方計算ニ関スル役所

第七

輕重方計算ニ関スル役所

第八

養老銀ノ計算ノ役所

第九

請求セサル養老銀計算ノ役所

第十

鰥孤養老銀扶助金請求ニ関スル計算ノ
役所

第十一

平民請求ニ関スル計算ノ役所

第十二

州郡ノ請求ニ関スル計算ノ役所

第十三

紛失ノ馬並ニ紛失ノ物品ニ関スル計算

ノ役所

第三精算方ハ左ノ報告ヲ為ス

第二検査頭ハ報告ノ件

第一

前條ニ載スル第三精算方役所ニ於テ引
受ヘキ諸會計方ノ勘定書ヲ正算ノ上第
二検査頭檢印ノ為其轉末ヲ報告ス

第二

平民ヨリノ勘定書並ニ請求書ヲ逐一正
算ノ上検査頭檢印ノ為其轉末ヲ報告

ス

第三

半給鰥孤ノ請求ヲ正算ノ上検査頭檢印
ノ為其轉末ヲ報告ス

第四

平民ノ養老銀ヲ受クル者ニテ十四ヶ月
中ニ受取方申出サ、此者ノ請求ヲ正算
ノ上検査頭檢印ノ為其轉末ヲ報告ス

第五

輜重方役所ニテ陸軍用ノ為其轉末並ニ

平民ヨリ調達ノ物品或ハ勤務ノ請求
ヲ正算ノ上検査頭檢印ノ為メ其轉末ヲ
報告ス

第六

國界並ニ「ウ」井ル午ニヤ州名海軍ノ内亂ノ
節國事ニ勤務セシ平民ノ請求ヲ正算ノ
上検査頭檢印ノ為メ其轉末ヲ報告ス

第七

第三精算方簿記上ノ殘金取戻ノ為メ訴
ヲ起スノ用意セシ諸勘定書類ヲ報告シ

及ヒ大藏省付代訴人用ノ為決算勘定帳
ノ正寫ヲ検査頭ハ差出ス

第八

公金遣拂ノ方法ニ隨ヒ其勘定書ヲ差出
サ、ル會計方ノ名前表ヲ三ヶ月毎ニ議
院ハ報告ス

第一精算方ハ報告ハ件

第一

合衆國軍事ニテ平民ノ夫ヒ夕一馬並ニ
物品請求ハ第二検査頭承認ノ
同第一

検査頭決算ノ為メ第一精算方 報告ス

陸軍卿へ報告ノ件

第一

千八百十五年第七月十一日前準備ノ為メ
取除ケ置クヘキ金高ノ概算二通ヲ認メ
年々陸軍卿へ報告ス

第二

第三精算方ノ手ヲ徑テ拂フヘキ銀孤半
給養老銀ノ為メ取除置クヘキ金高ノ概
算二通ヲ年々陸軍卿へ報告ス

第三

前三々年中差出シタル勘定帳メ全数ヲ
一々年ツニ其負數ヲ區別シ之ヲ陸軍卿
へ年々報告ス

第一検査頭へ報告ノ件

第一

第三精算方役所ニアリテ未タ決算ナラ
サル勘定書並ニ前年第九月三十日前ノ
三々年前ニ返納スヘキ現金アハ勘定書
ノ報告ヲ第一検査頭へ出ス

第二

年内勘定書ヲ差出サ、ル會計方士官ノ姓名並ニ前年第九月三十日前一年前ニ渡シタル金ノ残金勘定ノ立タサル會計方姓名ヲ年々第一検査頭ノ報告ス
大藏卿ノ報告ノ件

第一

第三精算方役所ニテ前年中使雇セシ書記生並ニ各人ノ渡セシ給料高ヲ認メ年々大藏卿ノ報告ス

第二

第三精算方役所ノ臨時入費遣拂ヒノ仕譯其他渡シ先ノ人名買入ノ品名高並ニ直段ヲ巨細ニ認メ年々大藏卿ノ報告ス
大藏記録頭ノ報告ノ件

第一

第三精算方ノ給料並ニ其役所附書記生並ニ使部等ノ給料ニ備ヘ置キ金高概算ヲ二通ニ認メ年々大藏記録頭ノ報告ス

第二

二ヶ年毎ノ記録ノ為メ前年第九月三十日迄第三精算方役所ニテ使崔セシ書記生並ニ使部ノ姓名生國並ニ年々ノ給料等ヲ認メ記録頭へ二ヶ年毎ニ報告ス

陸軍卿大藏卿並ニ議院等へ別段報告ノ件

第一

第三精算方ハ其役所ニ備置テ勘定書請求書其他之ニ関スル事件ニ付陸軍卿大

藏卿並ニ議院ノ其筋役負ヨリ下問アル時ハ別段ノ報告ヲ為ス

第四精算方職掌畧記並ニ分課ノ事

第四精算方役所事務取扱ノ畧記ハ千八百四十二年第一月三十一日大藏卿へ差出シタル書翰ニ明瞭ナリ其書簡ニ曰ク第四精算方役所ニテ正算スヘキ徳テノ勘定書ハ合衆国内並ニ外國ニアル海軍用達ノ者新兵徴集方士官海軍養老銀ニ算方其他海兵輜重方並ニ會

計方ヨリ差出スモノナリ
右ノ外會計方ニアラスレテ^{一時}其事ノ取扱トシテ
任セシ者ヨリ差出ス雜種ノ勘定書類ヲ正算
スルナリ○會計方ヨリ差出ス三ヶ月毎ノ勘
定書ハ一通毎ニ之ヲ正算スヘシ最モ海上ニ
アル會計方ノ勘定帳ノ分ハ此例ニアラス其
故ハ遣拂ヲ為スノ場所遠隔ノ地ニアルカ故
ニ一ト航海終リシ上ニテ上ニテ一纏ニシテ
其勘定書ヲ正算スルヲ以テ今日通例トセリ
此各種ノ勘定書類正算ノ手續ハ細密ニ至テ

ハ小異アリト雖モ大體ハ一般ノ手續ニ異ナ
ル事ナシ其勘定書類ハ第二検査頭ノ承認檢
印ヲ取ルナリ
船中會計方勘定書等ヲ取調フルニハ最初ノ
拂出帳ト人名録トヲ照較シ其姓名官位並ニ
轉免ノ日限ト照合スルヤ否ヲ見次ニ士官ノ
席順並ニ水夫ノ轉艦帳ヲ以テ俸給ノ割合等
拂出シ帳ニ載スル所正シキヤ否ヲ見ルヘシ
其後士官水夫等ノ願ニ依リ月給ノ内ヲ家族
養育ノ為メ残シ置タル割合ヲ検査シ之ヲ亦

拂出之帳ト其出入ノ請取證トテ以テ比較シ
其金額ニ相当スルヤ否ヲ見ルヘシ其餘畧之
分課

第一

海軍定額金並違書取扱ノ役所

第二

前金渡並ニ殘金取調ノ役所

第三

船中會計方勘定書取調ノ役所

第四

海軍用達ノモノ勘定書取調ノ役所

第五

海兵附會計方勘定書取調ノ役所

第六

海兵ノ輜重方勘定書取調ノ役所

第七

海軍徵集方士官勘定書取調ノ役所

第八

楢立木ノ保護方ヲ司ルモノ勘定書取調
ノ役所

第九

海軍養老銀計算法ノ勘定書取調ノ役所

第十

造船受負方ノ勘定書類取調ノ役所

第十一

海軍用諸物占受負方ノ勘定書取調ノ役所

第四精算方ヨリ報告ノ件左ノ如シ

第二検査頭ノ報告ノ件

第一

海軍省會計方ノ諸勘定書類ヲ調査正算ノ上第二検査頭承認檢印ノ為メ同人ノ報告ス

第二

海軍省ニ對シ諸請求ノ臨時勘定書調査正算ノ上第二検査頭檢印ノ為メ報告ス

第三

律ノ通り勘定書ヲ差出カ、ハ會計方ノ姓名ヲ第二検査頭ノ報告ス
但大藏省規則ニ依リ其三月毎ノ勘

定書正算ノ後三ヶ月ノ内ニ右報告ヲ
差出スヘナリ

第四

海軍省會計方引負トナリタル残金取立
方訴手續ノ為メ其勘定書寫二通ノ差出
ス

第五

第二検査頭ヨリノ下問ニ依リ大藏省附
代訴人用ノ為メ諸勘定書ノ事ニ付解
書ヲ差出ス

海軍卿ノ報告ノ件

第一

海軍臨時入費ノ勘定書ヲ年々報告ス

第二

各海軍會計方勘定書決算済ノ分ハ年々
報告ス

第三

海軍士官其他ノ者ノ臨時請求ノ決算ヲ
年々報告ス

第四

海軍病院準備金ノ景況ノ年々報告ス

第五

海軍士官給料並ニ役金ノ表ヲ年々差出

ス

第六

別段備金ノ遣拂勘定書ヲ年々報告ス

第七

海軍養老銀ノ受拂ヲ報告ス

第八

私船養老銀受拂ヲ報告ス

第九

役所用上木入費ヲ報告ス

第十

海軍者下問ニ答トシテ諸難事ヲ報告ス

第十一

生捕ノ亜弗利加人並ニ賣奴商業ノ防制

ニ関スル入費ヲ報告ス

大藏卿へ報告ノ件

第一

精算方役所へ雇タル書記生ノ人負雇入

ノ時日並ニ谷人ノ俸給ヲ年々報告ス

第二

大藏卿並ニ議院ノ下問ニ依リ諸難事ヲ報告ス

第一 検査頭ハ報告ノ件

第一

第四精算方役所ニ備置金銀出納簿上三ヶ年以上残金不納ノ分ヲ報告ス

大藏記録頭ハ報告ノ件

第一



年々第十月一日ニ於テ翌年中精算方役所入費トシテ議院ニテ取除ケ置ヘキ金額ノ概算ヲ報告ス

第二

二ヶ年毎ノ記録ノ為精算方役所ニ使被セシ士官等ノ姓名生國並ニ俸給等二ヶ年毎ニ報告ス

第五精算方職掌畧記並ニ分課ノ事

第五精算方ニテ現今為ス所ノ職掌ハ專賣免

許手数料勘定書並ニ内務省郵便並ニ專
賣免許取扱役所等ノ入費ノ内臨時費勘定書
ノ正算ヲ為シ第一検査頭ニ報告スルナリ且
外務其外總テ外國交際等ニ関スル勘定書ノ
正算ヲモ為シ第一検査頭ニ報告ス
第五精算方ハ大藏卿ノ指揮ヲ奉シ其設クル
所ノ規則ニ隨ヒ合衆國燈臺ノ長官ヲ兼任シ
之ニ關係スル諸件ヲ取扱フナリ其職務ハ專
ラ燈臺維持ノ為メ入用ノ概算ヲ取調ヘタ
ニアル集稅方ニテ燈臺長官ヲ兼任シタルモ

ノト其寮ニ關係ノ事務ニ付往復ヲ為シ其約
定ノ趣ニ從ヒ代人ヲ以テ其事務ヲ檢査セシ
ムル等ノ事ヲ管司ス而シテ又其約定等ノ三
ヶ月毎ノ勘定書ヲ集稅方ヨリ受取り右ヲ一
應取調ヘ正算ノ為メ第一精算方ニ送致ス且
又其事務取扱ヒノ集稅方渡シ為メ入費金受
取ノ連書ヲ大藏卿ニ差出ス等ノ事務ヲ取扱
フナリ
第五精算方ハ燈臺事務並ニ其役所ニテ管司
スル勘定書類ノ書留ヲ其役所ニ備置クヘシ

分課

第一

專賣免許手数料ノ歳入計算ニ関スル役

所

第二

臨時遣拂ヒノ計算ニ関スル役所

第三

外國交際ノ計算ニ関スル役所

第四

燈臺事務ノ管司ニ関スル役所

勘定書類正算并ニ燈臺寮管司ニ付第五精算
方ヨリ報告スル事件

第一

第五精算方役所ニテ引受ノ勘定書類差

引等正算ノ上證書類ヲ添ヘ其証明書ト

共ニ捺印ノ為メ第一検査頭ニ報告ス

第二

燈臺一般ノ景況ヲ年々大藏卿ニ報告ス

第三

下関ニ依リ其時々燈臺ニ関スル事件ヲ

談院へ報告ス

第四

燈臺保存ノ為メ其概算ヲ年々大藏記録
頭へ報告ス

第五

一ヶ年分ノ其役所々ノ臨時入費并ニ俸
給ノ概算ヲ記録頭へ宛テ報告ヲ出ス

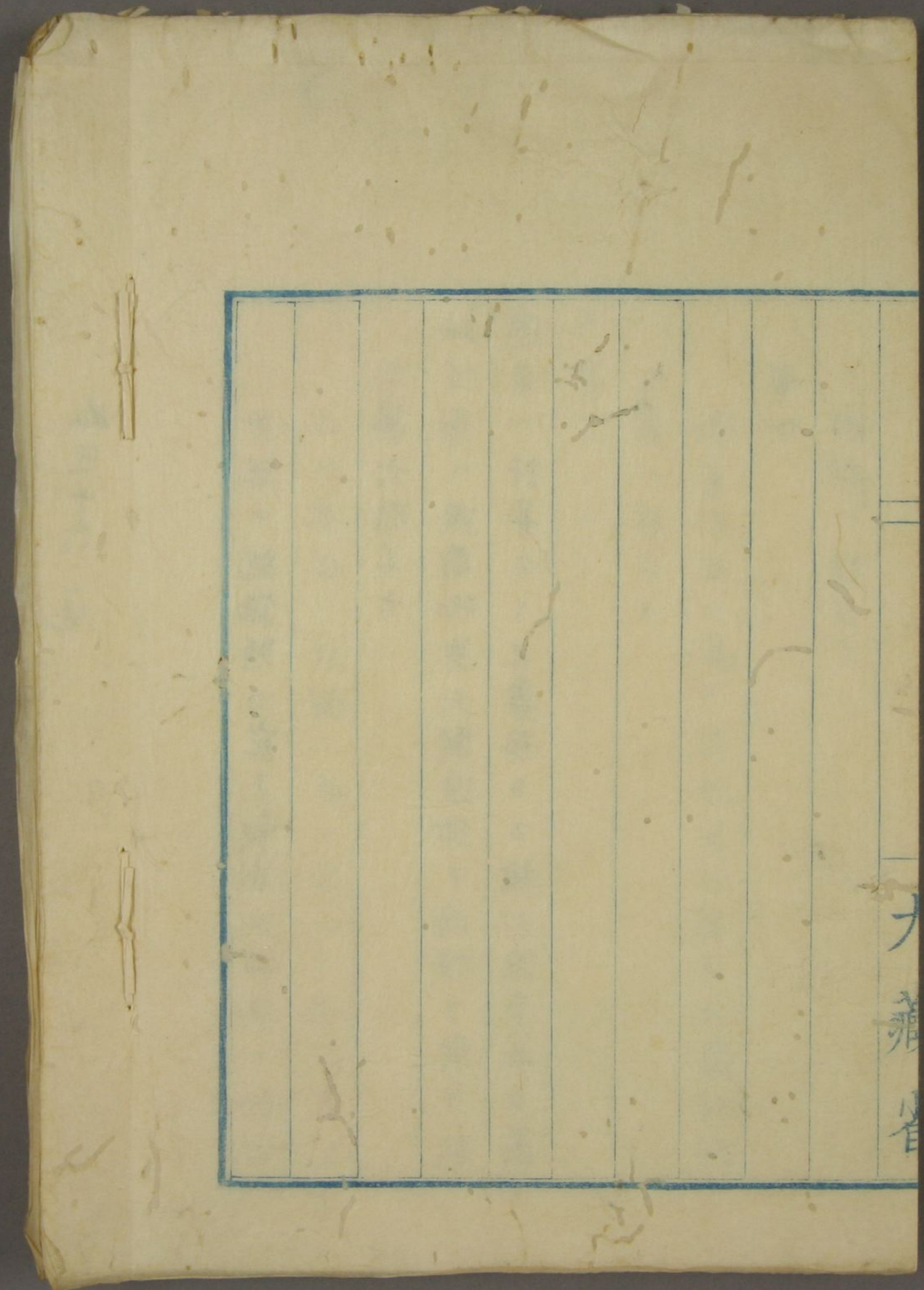
第六

二ヶ年毎ノ記録ノ為メ前二ヶ年間其役
所ニテ使雇セシ人名生國住所並ニ俸給

ヲ認メ記録頭へ宛テ報告ヲ出ス

第六精算方

此役所ハ大藏卿並ニ駅逓卿ノ指揮ヲ受ケ駅
逓者ノ計算ノミヲ専務トス故ニ總テ之ヲ畧
ス



九
卷
首